

円山原始林を多くの人に紹介しようと、1914(大正3)年、四国八十八ヶ所にちなみ、四国から北海道に移住してきた札幌近郊の有志に協力を呼び掛け、八十八体の観音像が建立されました。現在は、入口から頂上まで、二百体以上の観音像を見ることが出来ます。

2 円山登山道 八十八ヶ所入口
円山は、開拓当初から禁伐林として保護され、1921(大正10)年には国の天然記念物に指定されました。正確には原始林に近い天然林だそうです。世界的に見ても、大都市の市街地にこれほどの自然が楽しめる場所があるのは珍しく貴重です。標高が226mと低い山なので、気軽に登ることが出来ます。

1 円山公園
円山公園は、開拓が設けた養樹園が前身です。養樹園は、国内外の苗木を栽培し、優秀な成績をあげた樹種を道内各地に植えるための試験場で、その名残りが今でも公園内に見られます。



札幌市立大学の学生が案内する さっぽろみどりマップ

森林浴とアート散歩

円山・美術館エリア

さっぽろ市 02-G03-14-1430 26-2-899

3 円山動物園
1951(昭和26)年に道内初の動物園として開園した円山動物園は、季節を問わず来園でき、動物たちの様々な顔を楽しめます。エゾヤサクラ・ソメイヨシノ・キタコブシなど多様な花木も見られ、静かに花見やピクニックが楽しめます。

4 北海道神宮
北海道開拓・発展の守護神(開拓三神)が定められ、現在の位置に社殿が建てられたのは1871(明治4)年。札幌神社と呼ばれていましたが、明治天皇を1964(昭和39)年増祀し、北海道神宮と改称。現在は四柱の神を祀っています。

養樹園と杉木立の木道
養樹園には、ニセアカシア・イチヨウ・カラマツ・アカマツなどのほか、アモモ・ヒッコリー・コリノキ・ラウチエリーなど珍しい木々も植えられました。中でも1890(明治23)年に植えられた杉木立やヨーロッパ系は北海道では数少なく、独特な雰囲気を感じさせてくれます。

おすすめ交通機関

ポロクル 5月1日～10月31日
共同利用のレンタサイクル。街中にある46カ所のポートからポートへ、自由に貸出返却可能。「1日バス」なら24時間後まで利用できてお徳!

さっぽろ散策バス(北海道中央バス) 7月初旬～10月中旬
都心部から大倉山競技場・円山動物園へ行くのに便利!
※詳細はホームページ http://www.teikan.chuo-bus.co.jp/cm/n/pdf/sansaku.pdf

ぶらりサッポロ観光バス(JR北海道バス) 6月初旬～9月下旬
※詳細はホームページ http://www.jrhokkaidobus.com/pdf/20140516.pdf

料金(1日バス):1,080円
1日乗り放題乗車券:大人500円・子供250円
※共通1DAYカード(大人1,000円)・地下鉄乗継券利用不可

お世話になった円山公園の皆さん

【協力】札幌市公園緑化協会 円山公園管理事務所
【制作】札幌市立大学 デザイン学部 吉田研究室、(株)プラッツ
【監修】札幌市環境局みどりの推進部

■平成26年9月の情報です。情報が変わる場合がありますので、ご了承ください。

5 三二大通
北4条線の西11丁目から17丁目までの東西1kmの通りで、幅15mほどの中央分離帯には街路樹が植えられ、遊歩道も通り扱いには、おしゃれな力整備されています。

北海道立近代美術館
芝生や樹木の緑と、白い建物とコントラストが美しい美術館です。北海道ゆかりの作家が多いことで知られ、北海道の雪と氷のイメージと共通するガラス工芸品なども收藏しています。北海道生まれの彫刻家安田侃の作品がある2階ロビーに座って、ゆっくり眺める秋の紅葉も格別です。

北海道知事公館
かつて三井クワンと呼ばれた迎賓館で、シロなシブリアや赤い緞帳敷きの階段など、重厚感あふれるつくりになっています。現在は北海道庁の会議や行事に使われています。

このエリアで見たい! 花・紅葉カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
エゾエンゴサク (円山公園)		花					
チューリップ (円山公園)			花				
オオウバユリ (円山登山道)				花	花		
エゾヤマザクラ (北海道神宮)		花	花				葉
コウバイ (紅梅) (北海道神宮・知事公館)		花	花				
ヤエザクラ (南5条通)			花				葉
ライラック (北星学園)				花			
ベニバナトチノキ (北4条通)				花			
オオバオオヤマレンゲ (円山公園入口)					花		
オオバポダイジュ (大通西20～28丁目)						花	
カツラ (円山公園)							葉
アカナラ (円山公園)							葉
カラマツ (円山公園)							葉

※その年の気象によっては、大きくズレが生じることもあります。
※紅葉は、「昼夜の十分な気温差」「好ましい日当たり」「澄んだ空気と適度な湿度」といった条件が整うと、より美しくなります!
出典:北海道の緑化樹/(一社)北海道造園緑化建設業協会、(公財)札幌市公園緑化協会ホームページ、知りたい北海道の木100/佐藤孝夫著/亜細西社発行

6 北海道知事公館
かつて三井クワンと呼ばれた迎賓館で、シロなシブリアや赤い緞帳敷きの階段など、重厚感あふれるつくりになっています。現在は北海道庁の会議や行事に使われています。

7 北海道立三岸好太郎美術館
三岸好太郎は、大正から昭和初期にかけて、わずか31歳で生涯を終えた札幌出身の洋画家です。建築にも関心のあった三岸のアートを取り入れたモダンな建物にも注目です。館内では、カエデでゆくりできます。

8 北海道立三岸好太郎美術館
三岸好太郎は、大正から昭和初期にかけて、わずか31歳で生涯を終えた札幌出身の洋画家です。建築にも関心のあった三岸のアートを取り入れたモダンな建物にも注目です。館内では、カエデでゆくりできます。

学生おすすめの野外アート

森林浴を楽しみながら、みどりにたたくアート作品をゆくり鑑賞しませんか。
※場所はマップでご確認ください

a [宮地寅彦「開拓判官 島義勇の像」]
開拓、発展の守護神である開拓三神を背負って札幌入りした島義勇の往事の雄姿を再現したそうです。
所在地:北海道神宮正門にある神門左側

b [ワグナー・ナンドール「母子像・ふるさと」]
母と子の「与える愛」「受ける愛」を球体で表現しています。戦争を体験した作家が、平和への祈りを込めた作品。
所在地:円山公園(市長公館跡地)

c [安田侃「意心帰」]
洋館と芝生に調和してやわらかい空間を作り出しています。「意図・心はかたちを求め、かたちはまた心に帰る」という意味を持つそうです。
所在地:北海道知事公館 北側
※庭園解放期間: 4月～11月末 8:45～17:30

d [流政之「サキモリ2000」「サキモリ2002」]
北九州の守備を勤めた兵士「防人」に由来しています。真ん中が空洞になった人型の彫刻で、人間のあらゆる欲望を取り除いた姿といわれています。